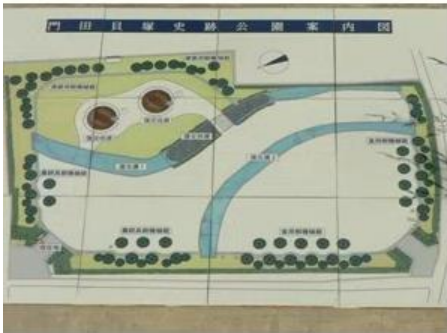


住宅街の中に復元された竪穴住居
門田貝塚



指定区分	国指定史跡
読みかた	かどたかいつか
所在地	瀬戸内市邑久町尾張
指定年月日	昭和60年3月6日
解説	弥生時代前期から鎌倉時代まで続く大規模な複合遺跡である。貝塚はハイガイ、シジミを主とし、“門田式”と呼ばれる弥生式土器や石器、獣骨などの遺物も出土した。現在は史跡公園として整備され、弥生時代の竪穴住居が2棟復元されている。
アクセス方法	JR邑久駅から徒歩5分
公開状況	自由
設備	数台なら入り口付近に駐車可能
備考	発掘調査による出土品は、現在、瀬戸内市立邑久郷土資料館に収蔵・展示されています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	門田貝塚
よみかた	かどたかいづか
しょざいち (所在地)	瀬戸内市邑久町尾張
していしたひ (指定した日)	昭和60年3月6日
せつめい	とても大きな貝塚(かいづか)です。弥生時代(やよいじだい)の貝殻(かいがら)、土器(どき)、動物(どうぶつ)の骨(ほね)以外にも鎌倉時代(かまくらじだい)の人々が生活(せいかつ)していたものまで発掘(はっくつ)されました。およそ2000年ちかく前に使われていたと思われます。いまでは2つの弥生時代の竪穴住居(たてあなじゅうきょ)のレプリカが建(た)てられています。